

災害時の流さないトイレ

- 災害時には、断水や停電で、トイレが使えなくなるかもしれません。
- 特にマンションの場合は、備蓄の水で汚物を流せても、排水管が壊れていたら途中で管が詰まってしまい、下層階で溢れてしまうことがあります。
- 大きな地震が起きた時には、まずは水を流さないトイレができるように、身近な物も活用して備えておきましょう。

ポイント1

トイレ1回あたりの尿の量は

約コップ1杯

ポイント2

1日にトイレに行く回数は

大人で平均
4～8回程度

ポイント3

1日の総排尿量は

牛乳パック
1～2本

ポイント4

1日の総排便量は
バナナ2本分
程度の便
(約250g)

水を流さないトイレを使ってみよう！

用意するもの 45ℓのごみ袋(2枚)、養生テープ、防臭袋、除菌シート、凝固剤(新聞紙、ペットシート、オムツなど)

手順1

便座を上へ上げ、ごみ袋を被せ、テープで固定します(水漏れ防止)。

手順2

もう1枚のごみ袋を被せて、便座を下げます。

手順3

凝固素材※を入れてから、トイレをします。

手順4

トイレの後は、必ず1人1回ごとに2枚目のごみ袋を取り替えましょう。汚臭の原因になります。

家庭用トイレへの取り付け例



※凝固剤によっては、トイレの後から投入するタイプもあります。

my action



あなたの家庭に必要な災害用トイレのセット数を確認しましょう。

● トイレに行く回数()回×()人家族×()日分= mℓ



今あるものにをつけて、買い足す物を確認しましょう。

凝固剤(新聞紙、ペットシート、オムツなどでも代用可)

ごみ袋(45Lサイズ、黒がおすすめ！)

防臭袋 除菌シート

メモ